

学校教育目標 主体的・対話的に学び、心豊かに未来を切り拓く児童の育成

ひまわり憲法
 「ひ」一人一人が元気にあいさつ
 「ま」まわりを思いやる心
 「わ」わがママをおさえる心
 「り」理想におかかってがんばる子

主体的に考え、表現する児童の育成
 ~自ら決める、自ら学ぶ、共に深める
 単元・授業デザインを通して~

【仮説】
 学習計画や単元、授業の流れを児童が自己決定する場面をつくるとともに、どんな力をつけたいのかを児童と共有することによって、児童が主体性をもって学習に取り組むことができるであろう。
 また、児童の実態を踏まえてつけたい対話力を設定し、一単元、一時間の授業の中で対話力を高めるための活動を計画的に行うことによって、確実に児童の対話力を高めていくことができるだろう。



主体的・対話的で深い学びのある授業

【「個別最適な学び」と「協働的な学び」の融合】
 ＊主体性を育成する単元・授業デザイン
 ＊必然性のある対話を生み出す教材研究

【対話力向上】
 ＊自分の考えを明確に話す力
 ＊確かに聞き取る力
 ＊問い返して広げ深める力

【学習基盤の定着】
 ＊学習規律の定着
 ＊情報モラルの定着

◆ 主体的に、ねばり強く学ぶ
 ◆ 根拠や理由を明確にして考える
 ◆ 必要な事柄を用いて筋道立てて表現する
 ◆ 他者と支え合って学ぶ

【ICT活用力】
 ＊自分に合った学び方を選択する力
 ＊ICTを用いて表現する力
 ＊ICTを活用し、考えを深める力

【基礎琴本の定着】
 ＊学習規律の確立
 ＊朝自習・粟Ⅰの充実
 ＊粟ノ保検定
 ＊家庭学習の充実
 ＊学習環境の充実

「学力向上ロードマップ」による体制づくり

＊調査チーム……分析・研修計画、検証・研修支援
 ＊研究チーム……学力向上、研究推進・指導力向上、授業研究
 ＊実践チーム……授業基盤(対話力、ICT活用)、学習基盤(基礎基本、学習環境)